

平和について学び・考えるフォーラム コロナ禍の紛争地では何が起こっているのか —パレスチナの人々の生活を通して考える—

趣旨 世界中の人々が新型コロナウイルスの感染により不安を抱えて生活をしている中で、紛争地ではワクチンや薬は足りているのか、戦禍の中で被害を受けた人たちはどのような暮らしをしているかということが心配です。

世界の人々が安全・安心に生活をおくるには、平和を阻害する要因としての紛争解決、および生命を脅かす新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するための国家間・地域間格差の解消が必要となります。そこで、紛争解決に係わる方、難民支援に係わる方、大学の機関、国連職員、研究者、ジャーナリストなどの報告を聞いて考える場を設けます。

日時 2021年10月9日(土) 11:00~16:00 (途中休憩あり)

会場 大原生涯学習センター

- 第I部 11時00分 オンライン写真展と対談 「望郷の地パレスチナと福島」
清泉女子大学ラファエラ・マリアセンター
古居みずえ (映画監督・ジャーナリスト)
長沢栄治 (東京大学名誉教授)
- 第II部 13時00分 オンライン「コロナ禍におけるパレスチナ・イスラエル紛争」
報告 南部真喜子 (東京外国語大学)
- 第III部 14時00分 オンライン 「パレスチナとイスラエルの現状」
報告 山村順子 (NPO 法人日本国際ボランティアセンターエルサレム現地駐在員)
- 第IV部 15時00分 オンライン 「パレスチナの人々の生活と新型コロナウイルス」
報告 清田明宏 (国連パレスチナ難民救済事業機関保険局長)

コーディネーター 藤屋リカ (慶應義塾大学) 鈴木啓之 (東京大学)

共催：NPO 法人日本国際ボランティアセンター

協力：清泉女子大学ラファエラ・マリアセンター パレスチナ学生基金

会場定員 20名 (先着順)

申込方法 大原生涯学習センター窓口、または電話(03-3969-0401)

問合せ・申込 まなぼーと大原 (大原生涯学習センター) 担当 長田・齋藤

〒174-0061 板橋区大原町5-18 ☎03-3969-0401 ※第3月曜日は休館日

共催・協力団体関係者で、オンラインでの参加を希望する方は、以下から事前登録をお願いします。

